

2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月10日

上場会社名 コムシード株式会社 上場取引所 名
 コード番号 3739 URL <https://www.commseed.net/>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 塚原 謙次
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 大久保 泰夫 TEL 03-5289-3111
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	1,517	-	77	-	44	-	34	-
2022年3月期第3四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 38百万円 (-%) 2022年3月期第3四半期 一百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	2.61	2.60
2022年3月期第3四半期	-	-

(注) 2023年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2022年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	1,383	910	64.9
2022年3月期	1,235	861	69.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 897百万円 2022年3月期 852百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2023年3月期	-	0.00	-	-	-
2023年3月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

2023年3月期の業績予想については、現時点で合理的な算出が困難なため、記載しておりません。

詳細については添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご確認ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	13,129,916株	2022年3月期	13,118,116株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	148株	2022年3月期	148株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	13,123,245株	2022年3月期3Q	13,114,761株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期等との比較分析は行っておりません。

また、当社は前連結会計年度までモバイル事業の単一セグメントとしておりましたが、第1四半期連結会計期間において、ブロックチェーン事業参入を目的とし、株式会社HashLinkを設立し子会社としたことから、同社を連結の範囲に含めるとともに、同社を含めた当社グループの営む事業について、今後の事業戦略等を踏まえ報告セグメントの見直しを検討した結果、第1四半期連結会計期間より「モバイル事業」及び「ブロックチェーン事業」へと報告セグメントを変更しております。

当社グループは、既存事業を維持しつつ新たな事業領域へ業容を拡大しており、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,517,331千円、営業利益77,137千円、経常利益44,363千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は34,236千円となりました。

セグメント別の経営成績と、展開する事業におけるサービス分野別の主な取り組みは以下のとおりであります。

（モバイル事業）

前四半期に引き続き、既存のソーシャルゲーム運営を進行しております。既存ソーシャルゲームが堅調に推移したほか、前四半期累計期間において着手しておりました、株式会社アイビープログラムの受託開発事業に関する収益が寄与しております。以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,352,811千円、セグメント利益は25,657千円となりました。

- ① ソーシャルゲームについては、主力サービスのバーチャルホール「グリパチ」が引き続き堅調に推移いたしました。定期的な新アプリの投入やYouTube生放送と連動したイベントなど、各種施策が功を奏し、安定した収益を確保しております。また、12月には新規ソーシャルカジノゲーム『カジノクルーズ』を国内向けにリリースしております。
- ② 従量制アプリについては、新規パチンコアプリ1本を投入したほか、引き続き第4四半期以降にリリース予定のタイトルに関する開発を進行いたしました。
- ③ 受託開発および運営業務に関しては、ストック型案件を中心に想定通りに推移しております。フロー型案件については、株式会社アイビープログラムで進行している受託開発が収益に寄与しております。
- ④ ゲーム内広告をはじめとする広告事業については、無料広告モデルのゲームをはじめとした施策が功を奏し、引き続き前年を大幅に上回るペースで推移しております。

（ブロックチェーン事業）

2022年4月に、当社グループのブロックチェーン事業を担う目的で、100%子会社である株式会社HashLinkを設立し、当第3四半期にはNFTプロジェクト『Tokyo Mongz Hills Club』の第3次販売を実施したほか、既存のPLTチェーンからイーサリアムチェーンへのマイグレーションを実施いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は164,500千円、セグメント利益は51,480千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は1,383,079千円となりました。

流動資産は1,032,629千円となり、主な内訳は現金及び預金607,742千円と受取手形、売掛金及び契約資産317,795千円であります。

固定資産は350,449千円となり、主な内訳は無形固定資産238,821千円と投資その他の資産103,001千円であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は472,944千円となりました。

流動負債は425,080千円となり、主な内訳は買掛金135,977千円、1年内返済長期借入金83,098千円、契約負債45,792千円、その他141,805千円であります。

固定負債は47,864千円となり、主な内訳は長期借入金20,268千円と役員退職慰労引当金18,427千円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は910,134千円となりました。

主な内訳は資本金1,139,662千円、資本剰余金570,771千円と利益剰余金△825,695千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、主力事業であるソーシャルゲーム「グリパチ」に加え、ゲームパブリッシング事業や安定した収益が見込める受託事業を軸に収益基盤を維持してまいります。そのうえで、当社グループが中長期的な成長を目指すには、「グリパチ」に続くコアタイトルの育成と収益源の多様化が重要となるため、新規タイトルの育成及び新規事業領域への挑戦等、新たな事業開拓を継続し、引き続き事業拡大を目指してまいります。

そうしたなかCommSeed Korea Co.,Ltdとの連携によるソーシャルカジノ開発、さらに株式会社アイビープロGRESSを子会社化し、開発人員の増強による利益率の向上及び、受託開発の強化を図りました。また、2022年4月にはNFT及びGameFi事業を推進していく株式会社HashLinkを設立しました。

2023年3月期の業績予想につきましては、売上高は既存事業が堅調に推移することを見込んでおりますが、当社グループを取り巻く事業環境は短期的な変化が激しいことに加え、利益面においてソーシャルカジノ開発に関する費用が先行投資的に増加することも見込まれること、さらには新規参入したブロックチェーン事業を取り巻く環境は、業界動向に状況が左右されやすく、暗号資産の価値の変動など非常にボラティリティの高い傾向があります。このため当社グループの業績も短期的に大きく変動することが想定されます。なお、現在新型コロナウイルス感染症の収束時期を予想することは困難ではあるものの、当グループに重要な影響を与える可能性は低いものと認識しております。

以上から、2023年3月期の通期業績の予想につきまして、現時点で合理的な算出は困難であるため、業績予想の開示を見合わせることにいたしました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	690,756	607,742
受取手形、売掛金及び契約資産	237,966	317,795
棚卸資産	6,184	17,064
その他	29,560	112,468
貸倒引当金	△22,386	△22,441
流動資産合計	942,082	1,032,629
固定資産		
有形固定資産	8,279	8,627
無形固定資産		
のれん	16,923	12,692
ソフトウェア	36,200	186,068
その他	83,140	40,060
無形固定資産合計	136,263	238,821
投資その他の資産		
その他	197,616	151,352
貸倒引当金	△48,742	△48,351
投資その他の資産合計	148,873	103,001
固定資産合計	293,417	350,449
資産合計	1,235,500	1,383,079
負債の部		
流動負債		
買掛金	92,436	135,977
1年内返済予定の長期借入金	30,348	83,098
未払法人税等	24,828	10,525
未払消費税等	45,825	7,280
契約負債	41,038	45,792
引当金	1,373	600
その他	69,165	141,805
流動負債合計	305,015	425,080
固定負債		
長期借入金	40,500	20,268
役員退職慰労引当金	18,427	18,427
退職給付に係る負債	9,917	9,169
固定負債合計	68,845	47,864
負債合計	373,861	472,944
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,136,699	1,139,662
資本剰余金	567,808	570,771
利益剰余金	△859,931	△825,695
自己株式	△53	△53
株主資本合計	844,522	884,685
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	8,046	12,583
その他の包括利益累計額合計	8,046	12,583
新株予約権	9,070	12,865
純資産合計	861,638	910,134
負債純資産合計	1,235,500	1,383,079

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	1,517,311
売上原価	976,842
売上総利益	540,468
販売費及び一般管理費	463,331
営業利益	77,137
営業外収益	
受取利息	1,502
補助金収入	3,428
貸倒引当金戻入額	391
その他	613
営業外収益合計	5,935
営業外費用	
支払利息	1,001
暗号資産評価損	33,732
雑損失	3,183
その他	791
営業外費用合計	38,709
経常利益	44,363
税金等調整前四半期純利益	44,363
法人税、住民税及び事業税	15,772
法人税等調整額	△5,645
法人税等合計	10,127
四半期純利益	34,236
親会社株主に帰属する四半期純利益	34,236

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	34,236
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	4,537
その他の包括利益合計	4,537
四半期包括利益	38,774
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	38,774

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、第7回及び第8回新株予約権が権利行使され、資本金及び資本準備金がそれぞれ2,963千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が1,139,662千円、資本準備金が570,771千円となっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	モバイル事業	ブロックチェーン事業	計		
売上高					
一時点で顧客に移転される財又はサービス	1,042,622	164,500	1,207,122	—	1,207,122
一定の期間にわたり顧客に移転される財又はサービス	310,188	—	310,188	—	310,188
顧客との契約から生じる収益	1,352,811	164,500	1,517,311	—	1,517,311
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,352,811	164,500	1,517,311	—	1,517,311
セグメント利益	25,657	51,480	77,137	—	77,137

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、前連結会計年度までモバイル事業の単一セグメントとしておりましたが、2022年4月にブロックチェーン事業を目的とする株式会社HashLinkを設立し連結子会社としたことから、同社を含めた当社グループの営む事業について、今後の事業戦略等を踏まえ報告セグメントの見直しを検討した結果、第1四半期連結会計期間より「モバイル事業」及び「ブロックチェーン事業」へと報告セグメントを変更しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。